

環境かわら版

ごみゼロ
いちのみや530作戦実施中

No. 54 (2013年12月1日 発行)

家庭で実践 ウォームビズ・ウォームシェア

皆さんの中には「ウォームビズ」や「ウォームシェア」という言葉を聞いたことがある人も多いかと思えます。

「ウォームビズ」は、冬の地球温暖化対策の一つとして、暖房時の室温20℃設定で心地良く過ごすことのできるライフスタイルを目指そうという取り組みです。



「ウォームビズ」というと、オフィスでの服装のことに注目が行きがちですが、家庭でも機能性下着を着用したり、ニットベスト・セーター・カーディガンなどの重ね着をすることにより、気軽に暖房に頼らない生活を実践することもできます。服装以外にも、ショウガなど体を温める効果がある食材を使った料理や温かい飲み物を飲むなど、体の内から温まる工夫をすることも方法の一つです。

また、「ウォームシェア」は、一人ひとりが暖房を使うのではなく、家族が一つの部屋に集まったり、暖房を止めて街に出かけたり、みんなで暖かいところに集まることでエネルギー

の節約につながるというものです。みんなで集まることで、暖かさだけでなく、楽しさや嬉しさもシェアできます。また、みんなが暖房を止めて街に出かけることで街の活性化にもつながります。

「ウォームビズ」や「ウォームシェア」は、夏場の「クールビズ」などに比べてまだまだ浸透しているとは言えません。皆さんも自分に合ったスタイルで、過度な暖房を控えながらも快適に過ごす方法を考えて実践してみませんか。

ご寄付いただき

ありがとうございます

(平成25年7月～10月)

- ・イオンリテール株式会社
- ・東海カンパニー
- ・株式会社ヤマナカ
- ・マックスバリュ中部

株式会社

(敬称省略)

チャレンジ25キャンペーンが推進する「6つのチャレンジ」

- エコな生活スタイルを選択しよう
- 省エネ製品を選択しよう
- 自然を利用したエネルギーを選択しよう
- ビル・住宅のエコ化を選択しよう
- CO2削減につながる取組を応援しよう
- 地域で取組む温暖化防止活動に参加しよう

※裏面もお読みください。

一宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編） にかかる排出量をお知らせします。

市では、「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定し、市全域から排出される温室効果ガスを、1990年度を基準年として、中期目標である2020年度に15%削減することを目標としています。

この度、2010年度の温室効果ガス排出量（推計値）の集計がまとまりましたのでお知らせします。

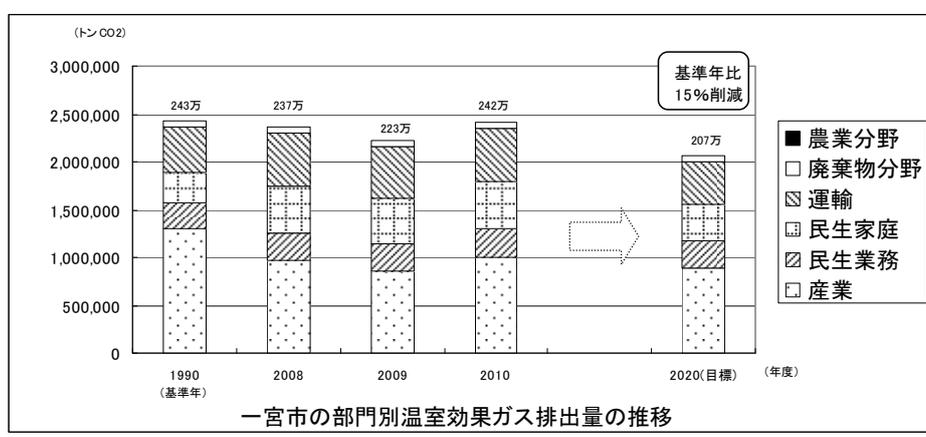
	排出量 (ト CO ₂)
1990年度 (基準年)	2,430,720
2009年度	2,227,988
2010年度	2,417,324
前年比	108.5%
基準年比	99.4%

2010年度の排出量は、前年比で8.5%の増加となりました。2008年度、2009年度はリーマンショックなど

の影響もあり一時的に減少しましたが、景気の上向きと共に排出量の増加が懸念され、目標達成のためにはより一層の削減努力が必要です。

部門別の比較では、全体の排出量の4割を占める産業部門で基準年比24%減と大幅な減少となりました。これは、企業の省エネ対策や従業員への環境教育などの取組みによる成果のほか、不況も少なからず影響していると考えられます。

一方で、民生家庭部門や廃棄物分野は、基準年比でそれぞれ52%増、26%増と大幅に増加しています。特に家庭からの排出量は全体の約2割を占めており、家庭での削減が目標達成のためには重要な部門となっています。家庭での節電や省エネ、ごみ減量の推進について積極的な行動をお願いします。



◆温室効果ガス排出削減のためにできること◆

- 節電・省エネ
- 暖房機器を使う場合は、エアコン・ストーブ・ヒーターなどを上手に使い分ける。

●電化製品等を買ったとき
は省エネタイプの商品を選択する。

●太陽光発電など再生可能エネルギーを導入する。

●ごみの減量
・食料品等は必要な分だけ購入し、ごみを出さない。
・ごみの分別を徹底する。

●買物の際はマイバッグを持参する。
・使えるものは繰り返し使用する。

●エコドライブ
・やさしい運転を心がける。
・車間距離は余裕をもって、交通状況に応じた定速走行に努める。

●車内を暖めすぎないようにする。(冬季)
・無用なアイドリングや暖気運転はしない。

●その他
・移動はできる限り徒歩や自転車・公共交通機関等の利用を心がける。